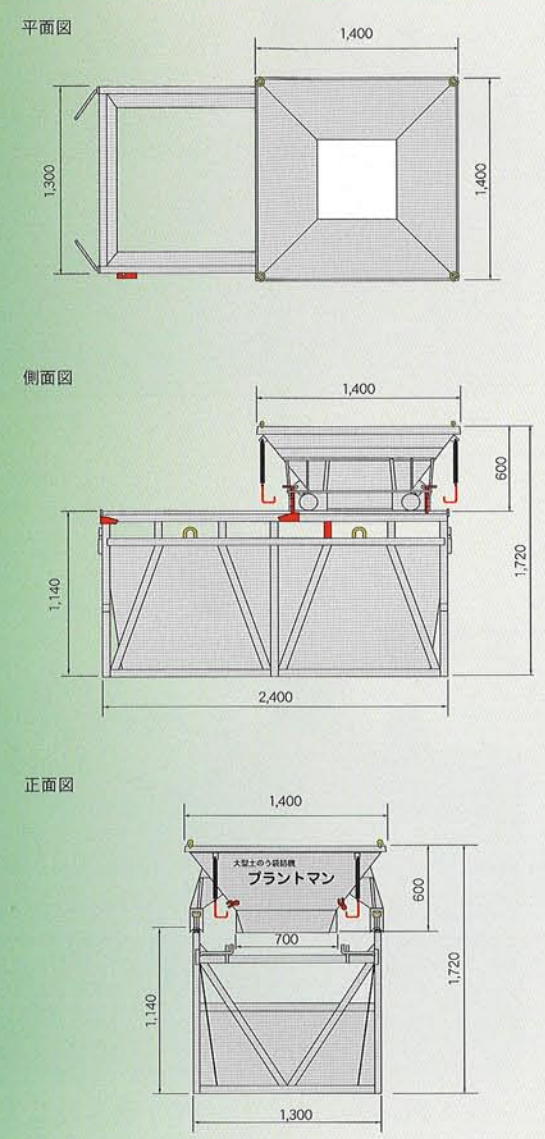
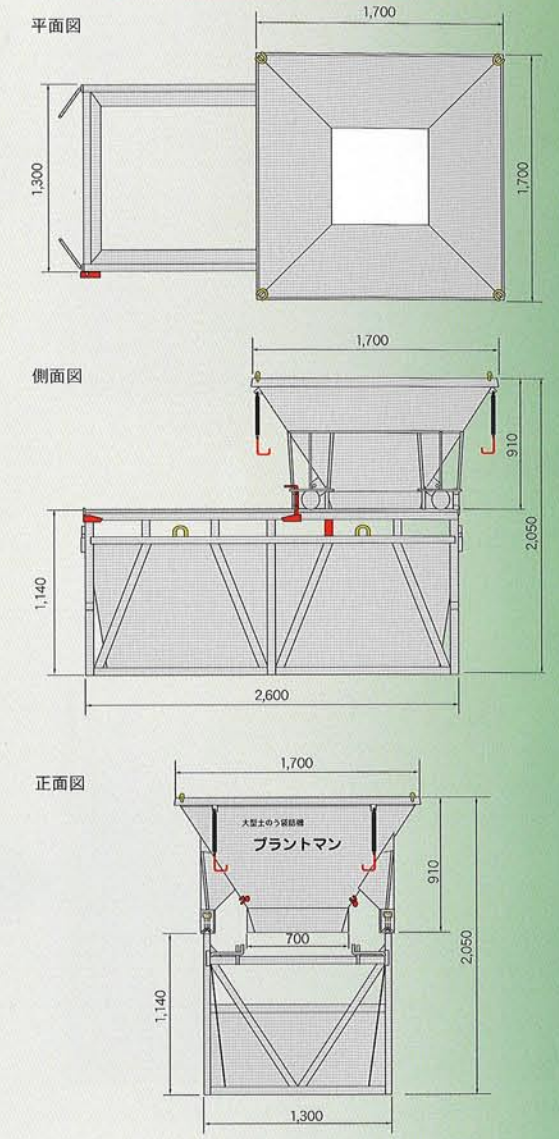


外形図

バックホウ0.25m³~0.45m³対応型



バックホウ0.8m³対応型



*プラントマンの総重量は670kg~720kgとなります。

- 本機は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承下さい。
- 掲載写真およびイラストは一部販売品と異なる場合があります。
- 本機をご利用される際の注意事項の詳細は取扱説明書をご覧ください。

★当社ホームページにて【プラントマン】の施工状況を動画にて配信しておりますのでご覧ください。

●お問合せ先

●販売元

株式会社 イスエスケイ

本社 〒389-0202
 長野県北佐久郡御代田町大字草越1173番地137
 TEL (0267) 32-2737 (代)
 FAX (0267) 32-2837
 mail : ssk1@bz03.plala.or.jp

大型土のう 袋詰機械

プラントマン

【商標登録済】



仮設・緊急災害時に
力強いパートナー現る！



安全 安心 スピーディー 能率アップ

- 安全でスピーディーな作業が可能！
- 4つの車輪で移動するホッパーで安心して安全な作業
- 2tパックを2分前後で1袋完成！（作業員2名+B・H1台）
- アングル車輪で、女性でも楽々移動が可能

フロントマン作業手順 (掲載写真はバックホウ0.8m³対応型を使用しています)

工程①



プラントマンを平らな場所にセットして下さい。

工程②



内袋を止め金具で固定し、トンパックをバネフックにかけます。

工程③



土砂を投入する前にホッパーのロック状況を確認します。

工程④



衝撃の少ない高さからバックホウにて土砂を投入します。

工程⑧



詰め終わった土のうを吊り出した後①からの工程を繰り返します。

工程⑦



トンパックの口をしぼりバックホウにて吊り上げる準備をします。

工程⑥



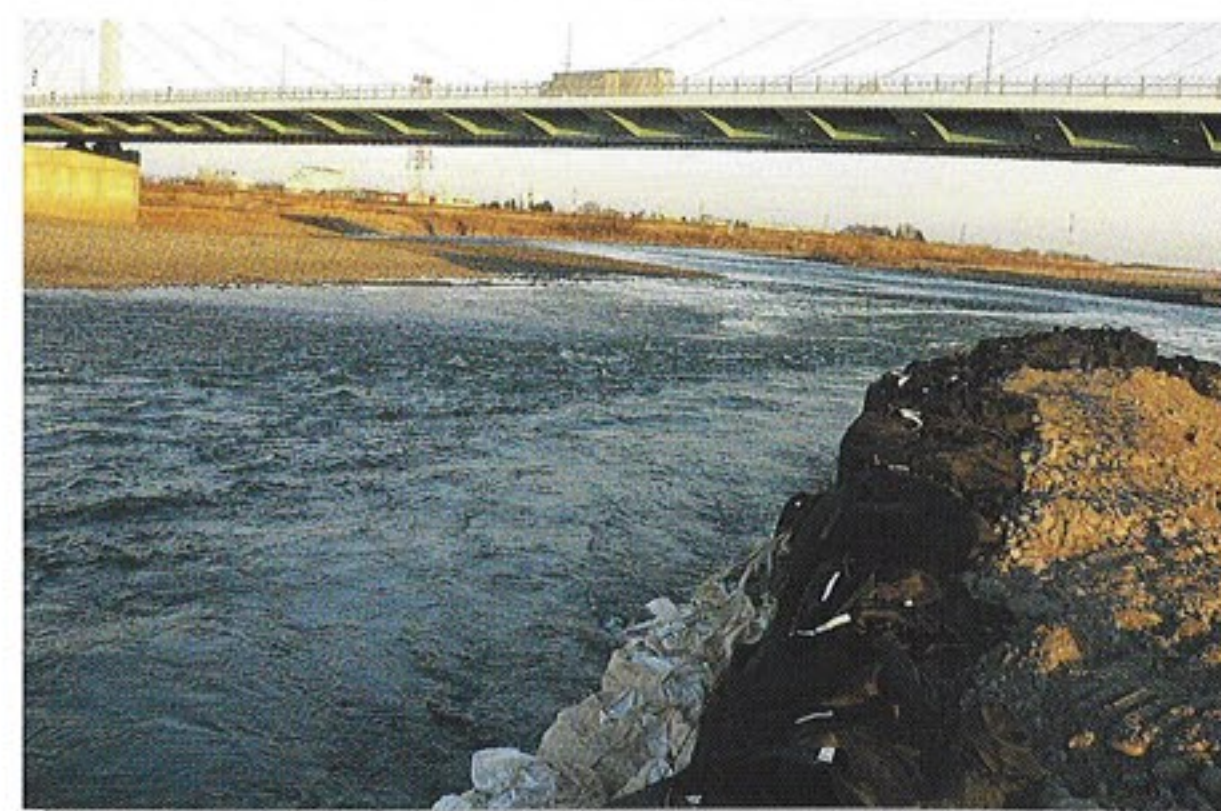
②と同様に内袋を止め金具にて固定し、バックホウにて土砂を投入します。

工程⑤



投入後、隣の柵にホッパーを人力にて移動させます。
*アングル車輪でレールの上を転がすので、軽く移動できます。

完成例



設置施工後の状況

弊社実績で、「利根川・板東橋仮設水廻し」に於いてバックホウ0.45m³対応型により大型土のうを6日間で1,320袋(1日平均220袋以上)を詰めた施工後の状況です。

※バックホウ0.8m³対応型を使用した場合は1日平均300袋以上の大型土のう詰めが可能です。(当社実績)

フロントマン優位点

- プラントマンの土砂詰め作業には、バックホウ1台、作業員1~2名でパック詰めが可能です。
- プラントマンは、ホッパー自体が台車になっており、アングル車輪でレールの上を、人力にて軽く移動ができます。
- ホッパーの大きさは、1400×1400と1700×1700の2種類があり大型(0.8m³クラス)のバックホウでの作業が可能となり、大幅に作業効率が上がります。
- バックホウ作業での投入作業時に、作業員が作業範囲内に立入らないため安全な施工ができます。